

令和7年度 今後に向けての学校の方向性（学校関係者評価を受けて）

1. カリキュラムポリシー（教育課程編成のねらい）

- ① 中学：通常の授業はもとより、TAISEI TIME や SEEL を中心に「主体的・対話的な学び」の機会を大切にする。
- ② 高校：コース制導入から3年目、生徒個々の「進路希望の実現に直結した学び」を深める教育課程を構築していく。

2. グラデュエーションポリシー（育てる生徒像）

- ① 自分自身の強みと課題を客観的に把握できる「自己肯定力」のある生徒を育てる。
- ② 多様性を理解し、他者を尊重することのできる「共生力」のある生徒を育てる。
- ③ 今持っている力で叶えられる目標ではなく、もうひとつ上のレベルにチャレンジする「挑戦心」を育てる。

3. 教職員に求めるもの

- ① 教職員全員が当事者意識を持ち、クラス・学年・分掌内での責務を果たす。
- ② 対話と支援に基づいた教育により、生徒と保護者の満足度を上げる。
- ③ 私学の教員としての自覚を持ち、新入生確保の一役を担う。

4. 社会に支持される学校づくり

- ① 法令や服務規律を順守し、学校関係者や地域の方々の本校への信頼を強固なものとする。
- ② 地域の方々との協働活動や防災対策により、地域に根差した学校となるよう連携を深めていく。
- ③ 在校生・卒業生の活躍を発信するとともに、同窓会や後援会との連携も深めていく。
- ④ 静岡精華幼稚園・静岡福祉大学との連携を強化し、スケールメリットを活用していく。